北京観光特集第二弾

中軸線を越え
昔の皇居である
古い北京を楽しもう

北京市文化観光局

Beijing Municipal Culture and Tourism Bureau

© 2019 Visit Beijing All Rights Reserved

中軸線
国の軸線

一本の線、一つの町 —— 北京中軸線の意義

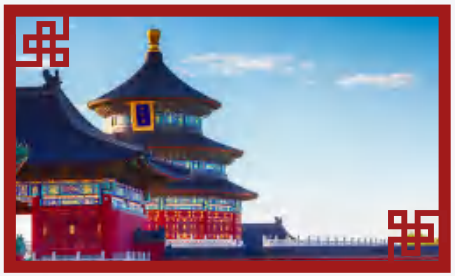
北京の「中軸線（都市の中央部を貫く道路）」は南の永定門から、正陽門と紫禁城を経て鐘楼と鼓楼に至り、長さ7.8キロメートルで、古都北京の中心的シンボルであり、世界で現存する最長の都市の中軸線でもある。これまで、この南北を貫く真っすぐな軸線は既に700年以上の歴史を持っている。

北京の中軸線は知恵と美しさに溢れる対称的な軸のみならず、中には一種の理念と想像も含まれている。首都である北京を出発点とし、その中軸線は中国の広大の国土を南北に貫き、有名な山や川を真っすぐ通り抜け、それによってこの東洋の国は巨大な「中」の形をしている。

今期では皆さんと一緒に中国の軸線である北京中軸線を訪ねていく。

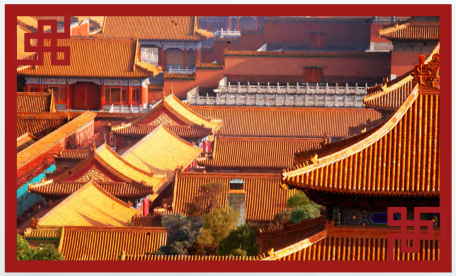
中軸線——国の軸線

ハイライト



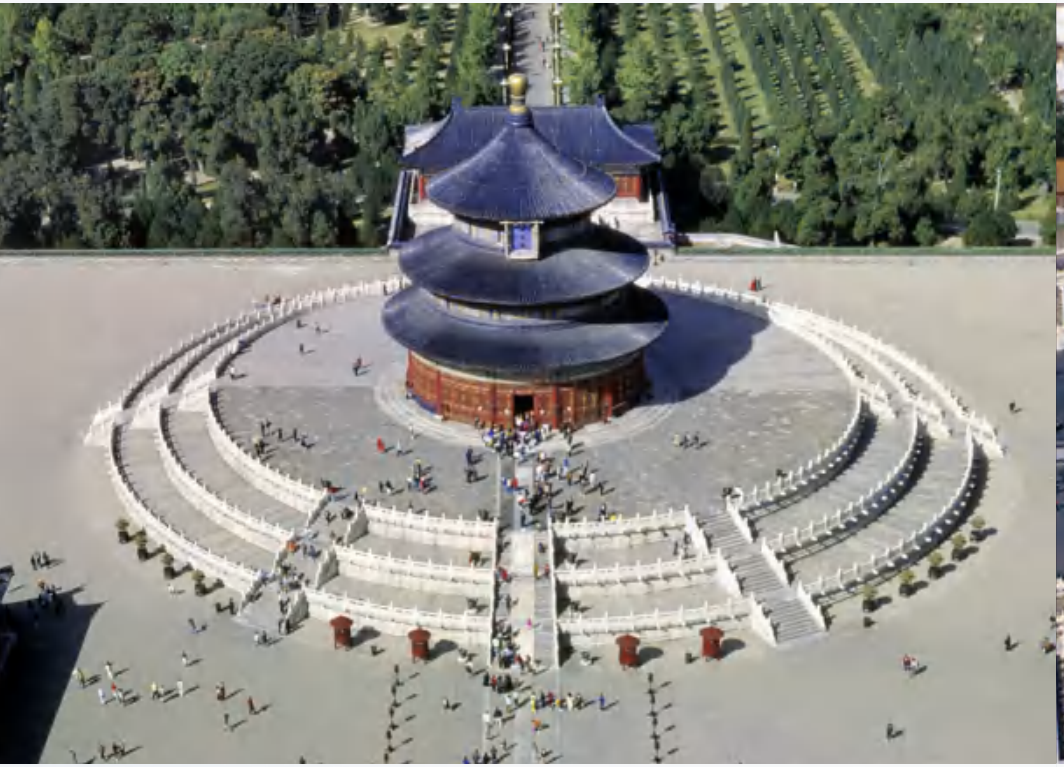
皇居のひざ元にある古い北京

歴史長い街——中軸線を訪れる旅



中軸線を通り抜ける（人気路線）

中軸線と世界遺産



皇居の元にある古い北京

皇居の元にある古い北京

一つの都市の住民はその都市に関する独特な記憶を持ち、その記憶は長年の積み重ねや強化、昇華により、都市の「根」になった。

中軸線は南北を貫いて伸びており、その東側と西側の建物は中軸線に関して対称し、前後が起伏し左右が対称する皇家建築のスタイルが形成された。この都市の軸線の誕生により北京は壮美で秩序よくかつ独特な街づくりになった。百年の風雨にさらされた北京中軸線にある42か所の建物は全貌が見られないが、その魅力は昔のままである。

中軸線のランドマーク

北京の鐘楼と鼓楼

古都の時刻を知らせる中心である。鼓楼に太鼓がおかれ、鐘楼に鐘がぶら下がっている。前と後ろに位置した二つの楼は気宇壮大かつ雄大で、北京のランドマークの一つであり、中国百年近くの歴史を経ってきた重要な建物でもある。

場所：　北京市東城区地安門外大通りの北側

入場料：　鼓楼20元　鐘楼25元
通し切符30元

景山公園

西は北海に臨み、南は故宮の神武門と街に隔てられており、中国で最も完全な形で保存される宮殿園林の一つである。園内には綺望楼や五方亭、寿皇殿、永思殿、牡丹園などの観光スポットがある。万春亭に立ち周りを俯瞰すると北京の壮大さと壮麗さが一望できる。

場所：　北京市西城区景山西街44号

入場料：　2元

永定門

明、清代北京の外郭の正門であり、左安門と右安門の間に位置する。北京外郭城門の中一番大きな一つであり、南から都を出入りする四方に通じる要路でもある。

場所：　北京市東城区永定門内大通り

入場料：　無料

故宮博物院

中国の明、清代の皇家宮殿であり、旧称「紫禁城」である。世界最大規模かつ最も完全な形で保存される紫禁城の木造宮殿建築群として世界五大宮の一番と称えられている。1987年にユネスコに「世界文化遺産」に登録された。

場所：　北京市東城区景山前街4号

入場料：　60元（毎年4月1日―10月31日、珍宝館と時計館以外）
40元（毎年11月1日―来年3月31日、珍宝館と時計館以外）

社稷壇

天安門の西にあり、明と清の皇帝が土地神や五穀神を祭る場所である、太廟と隣接し、メイン建築は社稷壇と拝殿及び付属の戟門、神庫（祭器や供え物を保存する倉庫）、神厨（供え物を調理する台所）、宰牲亭（神への供え物である家畜をしめる場所）などである。全国各地から奉げられた五色の土は皇室社稷壇に置かれ、古代の君主のこの上ない権力を示している。

場所：　北京市東城区中華路4号
中山公園内

入場料：　3元

太廟

明と清の皇帝が祖先を祭る廟であった。皇帝の廟は一国の廟であり、皇帝の権力が国民を統治できることの倫理的肯定と示しである。現在は北京市労働人民文化宮である。メイン建築は三進大殿と配殿で、北京に現存する最も完全な明代建築群の一つである。

場所：　北京市天安門広場の東北側

入場料：　2元

天安門

北京の中心に位置し、故宮の南にあり、天安門広場と人民英雄記念碑、毛主席記念堂、人民大会堂、中国国家博物館と長安通りに隔てられる。敷地面積は4800㎡である。その優れた建築芸術と独特な政治地位に世界中に注目されている。

場所：　北京市東城区東長安通り

入場料：　無料

正陽門

明と清の時代に北京の内郭の南門であり、天安門広場の最南端にある。正陽門の城楼とやぐら、城門の外を取り囲む小城郭が全部そろった古代の防御用の建築システムである。今や正陽門城楼とやぐらしか残っていないが、北京市内唯一の比較的に完全に保存された城門である。城楼には北京民俗展覧館がある。

場所:　北京市東城区前門大通り甲2号

入場料:　2元

先農壇

明、清代の皇室が先農をはじめとする神々を祭る場所であり、正陽門の西南に位置し、東側の天壇建築群と対応している。先農壇は中国に現存する唯一の先農を祭る遺跡である。ここには故宮の太和殿とほぼ同じ規模の太歳殿のみならず、古代に皇帝が自ら鋤をもって農耕儀礼を行う「籍田」もある。

場所:　北京市西城区東経路21号

入場料:　無料

天壇

明と清の皇帝が天を祭ったり五穀豊穣を祈ったりする場所であり、正陽門外の東側に位置する。天壇は南北の圜丘壇と祈穀壇という二つの壇に分けられ、両壇は一本の南北を貫く軸線に位置する。圜丘壇には圜丘壇や皇穹宇などがあり、祈穀壇には祈年殿や皇乾殿、祈年門などがある。1998年天壇はユネスコに「世界文化遺産」に登録された。

場所:　北京市東城区天壇東里甲1号

入場料:　15元(毎年4月1日—10月31日、祈年殿と回音壁、圜丘壇以外)

10元(毎年11月1日—来年3月31日、祈年殿と回音壁、圜丘壇以外)

歴史長き街

中軸線を訪れる旅

北京は首都に選ばれたあと、町の中央に同じ軸で立ち並んでいる人を驚嘆させるほどの建築群は町の軸になった。もし中軸線を町の椎骨と見なしたら、一本一本の歴史長き通りは町の骨格となる。互いへの支えによるこそ、北京の町はよい秩序を持つ気宇壮大な町になった。

中軸線にある皇室の威厳と異なり、これらの数百年に渡る王朝や時代の交代を経ても依然として賑やかな古い街には、北京の数えきれない歴史と記憶が刻まれている。

歴史長き街

中軸線のランドマーク

鼓楼大通り

古風で重厚な大通りで、道端には四方八方に通じる胡同や名人旧居が分散している。景色の美しい什刹海や北京一番古い斜街（斜めに伸びる街）である煙袋（キセル）斜街、古い北京の歴史文化の風貌が蓄積された慶王府、恭王府、宋慶齢旧居、郭沫若旧居、梅蘭芳旧居などである。そればかりではなく、今の鼓楼大通りはだんだんおしゃれになり、既に北京で有名なバーストリートになった。夜になると、人々がお酒を楽しんでいる賑やかな街から微かな古風も感じられ、古典と現代の融合により鼓楼大通りは新たな活力を輝かせている。

地安門外大通り

内と外の二部分に区切られ、有名な燕翅楼はここに位置する。地安門大通りは元代から名高い商店街であり、今は馬凱レストランや百貨店、電気売り場、新華書店、薬局、副食品売り場、合義斎など数十軒の店がある。有名な南鑼鼓巷はそれと隣接している。

景山通り

街の両側に木が茂て緑豊かに見える。景山通りには景山前街、景山後街、景山西通りと景山東通りが含まれる。この街は人々にそれほどよく知られないが、中国近代の歴史においては毛沢東や鄧小平、蔡元培、魯迅といった偉い人や文化人の方々が嘗てここで姿を現し、彼らのの思想と行動は中国の運命を変えたと言えるだろう。

南北池子大通り

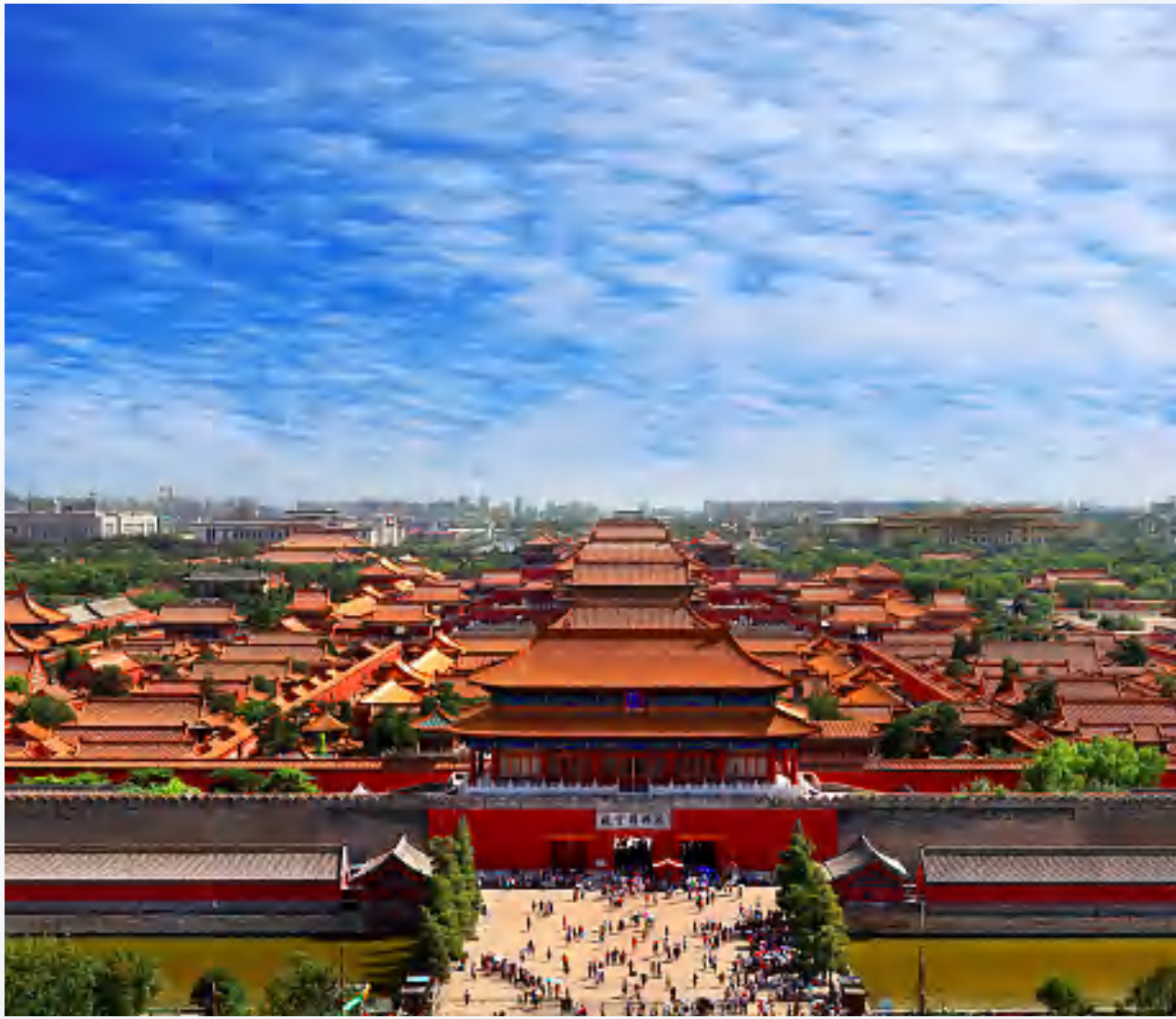
明、清代は皇居内東南の隅の街であった。現在、南北池子大通りの東側と西側に明代の東苑、皇史宬（帝室図書館）、清代の普度寺などの重要な歴史上残った建物が分散し、また飛竜橋胡同、緞庫胡同、磁器庫胡同といった胡同もある。

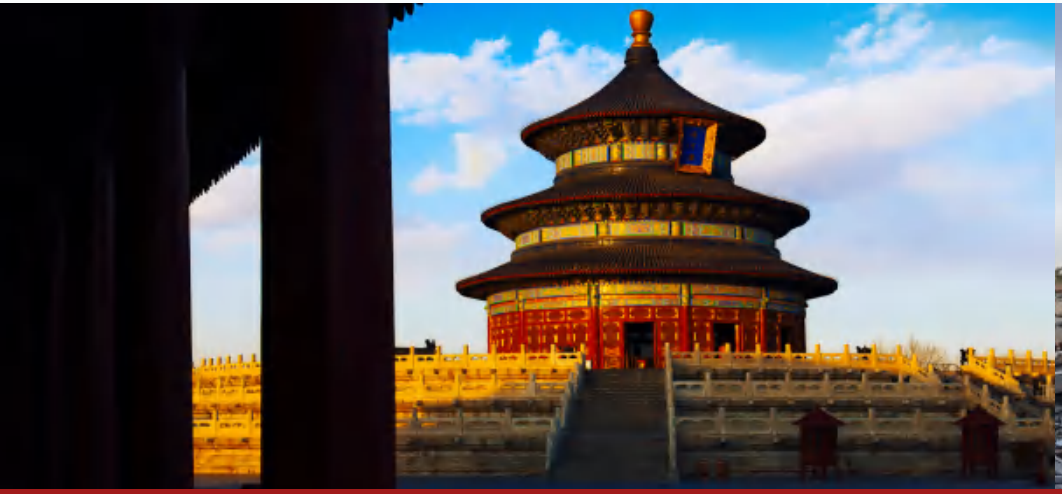
前門大通り

北京で極めて名高い商店街である前門大通りは長い歴史を持っている。北京の最も有名な「大柵欄児（歩行者天国の名）」はここにある。六必居醤園や同仁堂薬局、瑞蚨祥綢布店（呉服や布を売る店）、内聯昇靴屋、張一元茶荘、都一処焼売屋などの16軒の老舗をはじめとするたくさんの中華老舗は街の両側に位置している。前門大通りの見逃してはいけない観光地である広和楼には、北京っ子の梨園文化への一番最初の記憶が保存されている。

中軸線を通り抜ける

まずは中軸線があり、その後北京城が生まれた。この町の軸はとっくに北京で最も美しい風景になったので、「中軸線を通り抜ける」ことは北京観光の一番人気高くお勧めの観光路線になり、中軸線にある観光スポットも観光客が必ず泊まって楽しむ場所になった。





DAY 01

- 北京の中華老舗を探し、
  古い北京の秘密を探る
- 天壇観光
- 前門で北京のおやつを味わい、
  北京風の小物を探し、中華老舗を訪れる
- 老舎ティールームでお茶を飲み、
  北京っ子ののんびりした生活を体験する

DAY 02

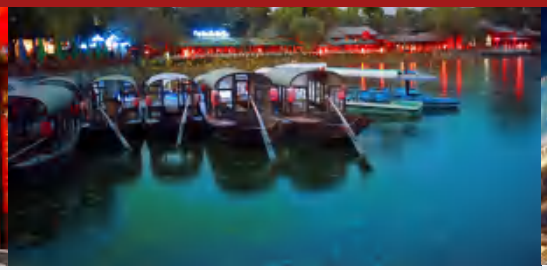
- 皇帝の命令により紫禁城を通る
- 正陽門、天安門、毛主席記念堂、
  人民英雄記念碑の観光
- 故宮に封された歴史的記憶を知り、
  都の輝かしい文明を感じ取る
- 景山公園の最高点に登り、
  北京の中軸線を見渡す
- 夜に什刹海の『パンダ』のカンフー劇を見る

DAY 03

- 街を歩き回り、
  北京風情の胡同迷宮の秘密を探る
- 南鑼鼓巷
- 火徳真君廟
- 恭王府

DAY 04

- 東洋の古典とモダンな風潮が融合する新しい北京
- 鳥の巣　ウォーターキューブ（北京国家水泳センター）
- 頤和園



中軸線を通り抜ける

中軸線を通り抜ける

DAY 01

- 孔子学院で中国語を学ぶ
- 地元の住民の日常生活を見学する
- 南鑼鼓巷商店街観光
- 北京ダックを食べる

DAY 02

- 天安門広場
- 景山公園
- 鳥の巣
  ウォーターキューブ（北京国家水泳センター）

DAY 03

- 天壇で太極拳を学ぶ
- ジャージャン面を食べる
- 中国カンフーを学び、中国カンフーショーを見る

中軸線と世界遺産

北京における七か所の世界文化遺産の中、故宮と天壇、京杭大運河北京部分の什刹海及び万寧橋という3か所は中軸線に位置している。

中軸線には中国古都の歴史と中華文明の精神が潜まれ、中華民族の豊かな芸術の想像力が示され、中国の労働者の知恵の結晶が凝集されておる。中軸線の世界文化遺産の申し込みは既に始まったが、この比類なき町の中軸線が北京の八つ目の世界遺産になることが期待されておる。

ご連絡をお待ちしております

ご連絡をお待ちしております

お問い合わせをご希望の方や関連の製品とサービスをお持ちの方、ご連絡をお待ちしております。

北京観光発展委員会公式メールアドレス：visitbeijing@whlyj.beijing.gov.cn

ウェイボーアカウント

北京市観光発展委員会

ウェイチャットアカウント

北京市観光発展委員会
北京観光

公式ウェブサイト

http://www.visitbeijing.com.cn/

北京之旅
Beijing

ご覧いただきありがとうございます！